

「越谷サンシティ整備基本計画（案）」に対するパブリックコメントの概要

意見募集期間	令和3年(2021年)2月13日(土)～3月14日(日)
周知方法	市ホームページへの情報掲載、広報こしがやお知らせ版2月号への記事掲載 情報公開センター、越谷cityメールにおける意見募集案件の周知
意見提出方法	各施設に設置した意見箱への投函、郵送(当日消印有効)、ファクス、電子メール
基本計画(案)・ 意見箱設置場所	全16か所 市役所政策課窓口、情報公開センター、各地区センター(13か所)、コミュニティセンター
意見数	意見提出者：29人 意見数：42件 (意見箱4人、郵送0人、ファクス4人、電子メール21人)

■意見数内訳

項 目	件数	市の考え方の区分		
		A	B	C
①新たな越谷サンシティの整備に向けたコンセプトに関すること	5	2	3	0
②施設整備・機能の検討に関すること	27	17	10	0
③その他	10	0	5	5
（うち 基本計画案に反対）	(1)	(0)	(0)	(1)
（うち 基本計画案に賛成）	(1)	(0)	(0)	(1)
合計	42	19	18	5

<市の考え方の区分>

- A：越谷サンシティ整備計画（案）に反映します
- B：越谷サンシティ整備計画（案）には反映しません
(今後の整備の参考とします)
- C：その他

「越谷サンシティ整備基本計画(案)」に対するパブリックコメント【概要】

- 29人／42件の意見のうち、最も多かったのが「アリーナを整備してほしい」(13人／13件)で、具体的には「1万人規模の多目的大ホールが必要」や「さいたまスーパーアリーナ」を例示に挙げるもの、さらに、「越谷アルファーズのホームアリーナとして整備してほしい」との意見があった
- 一方、アリーナについて、「施設の稼働率」や「周辺地域の治安」を不安視する声もあり、「アリーナは不要」との意見もあった(4人／4件)
- 次に多かったのが「現施設と同様のホールの整備に賛同」(10人／10件)で、具体的には「文化のまち的要素は絶対必要」や、「高いグレードのホールを整備し、市民も利用できれば、シビックプライドの醸成につながる」との意見があった
- 一方、ホールについて、現行の機能の継承であれば、「有益でない」「南越谷の好立地への必要性に疑問」との意見もあった(2人／2件)

主な意見(要旨)		市の考え(要旨)	計画への反映(加筆)
① コンセプト	デザインに関すること(4人) ・デザイン要素も取り入れてほしい ・郷土愛を育てるためにデザインを重視してほしい	基本計画案「3 新たな越谷サンシティの整備に向けたコンセプト」 ①の本文中「市民のシビックプライド(郷土愛)を醸成するシンボリックな空間の形成を目指します」を「 市民のシビックプライド(郷土愛)を醸成するシンボリックでデザイン性のある空間の形成を目指します 」とします	引き続き、基本計画案で掲げたコンセプトを体現した施設の整備に取り組んでいきます
	その他、コンセプトに関すること(7人) ・越谷市は埼玉県東南部エリアの中核都市としての機能を十分に発揮する責任と義務がある ・「にぎわい」を生み出すと同時に、それが収益に繋がらなければならない		
② 施設整備・機能	「アリーナ」に関すること(17人) ・1万人規模の多目的大ホール(アリーナ)が必要 ・さいたまスーパーアリーナのような施設を整備してほしい ・越谷アルファーズの拠点となる施設を整備してほしい ・稼働率や施設周辺の治安が不安 ・アリーナは不要ではないか	「イベントホールの整備」に当たっての考え ・現在のサンシティが、オープンから40年余りの間、本市の「文化・芸術」の拠点として、多くの方々に親しまれてきたこと、現在でも約80%の稼働率を誇り、幅広い文化・芸術活動、市民活動に利用されていることを踏まえ ➡公共施設(機能)の一つとして、現ホールと同規模以上の整備をしたいと考えています(基本計画案で示しているとおり) ・一方、音楽ホールとスポーツアリーナの機能を兼ね備えるなど様々なホール形態が考えられます ➡「民間施設の方向性」の一つに、現在のイベントホールの機能を維持しつつ、公共施設(機能)との相乗効果が期待できる施設・機能として、「アリーナ」を例示しており、今後の事業者との対話のなかで十分に参考にします	基本計画案「民間施設の方向性」の一例として「アリーナ」機能を示していますが、これに、 『パブリックコメントでは、アリーナの整備を望むご意見を最も多くいただいた』 旨を明示します(アリーナ整備を不安視するご意見も併記)
	「市民ホール」に関すること(12人) ・現施設と同様のホールの建設に賛同する ・文化のまち的要素は絶対必要 ・非常に高いグレードのホールを整備し、そういった施設を市民も利用できれば、シビックプライドの醸成につながる ・現行施設のような特定の興行開催の種類に限られる形(音楽ホール)での継承に留めることは、有益でない		

	図書室、出張所、広場に関すること(9人) ・サンシティの図書館は市の中心部にあり、駅も近く便利 ・屋外フェスなどでもできる全天候型(可動屋根開閉システム等)のテラス的な要素を含んだ緑ある空間がほしい	公共施設(機能)の一つとして掲げていることから、十分に参考にします
	「アクセス(駅から施設まで)」に関すること(5人) ・駅から施設までの回廊を建設してほしい ・駅から施設までを直接つなげる場合、地元商店に影響があり反対	「南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想(令和2年3月策定)」では、周辺の都市基盤の整備についても検討することとしています ➡今後、サンシティの整備にあわせ、アクセスの改善について検討していきます (施設周辺には多くの店舗があることから、十分に配慮して検討)
	防災機能に関すること(5人) ・イベントホールの機能には災害発生時の、防災・避難拠点になり得るものを整備していただきたい ・災害救助拠点として、屋上ヘリポートや自家発電装置、建物内植物工場などを備えるのも一案	基本計画案「4 施設整備・機能の検討」では、新たな越谷サンシティは、災害時の防災拠点としても最大限活用することとし、市民が安心して利用できる施設となるよう整備を行うこととしています
	建て替えに関すること(1人) ・同じ規模・用途の施設を建替えるのであれば、改修で十分	現在のサンシティは、施設の老朽化が見られ、商業施設の機能の転換、さらには、施設の長寿命化を踏まえると、相当大がかりな大規模な改修が必要となり、相応の費用負担が想定されます。また、建物の構造上、商業施設または市民ホールのいずれか片方のみを建て替えるには技術的制約があります ➡新たな越谷サンシティの整備にあたっては、「建て替え」によって整備を進めたいと考えています
	運営内容に関すること(6人) ・チケットの申し込み・発券・販売システムなどのソフト面に公・民の垣根を払った共通性を持たせて欲しい ・阿波踊りや花火大会などとのコラボレーションも視野にいれるべき	今後の事業者との対話のなかで十分に参考にします
	その他、施設(機能)の具体的な提案(13人) (宿泊施設、飲食店、スーパー、サテライトオフィス等)	参考とさせていただき、民間事業者のノウハウ・創意工夫を最大限引き出すよう努めていきます
③その他	その他の意見(8人) (工事期間中も南越谷エリアで図書室が利用できるよう検討してほしい など)	(整備期間中においても、切れ目ないサービスの提供や利便性の確保について、検討を進めます)
	基本計画案に反対の意見(1人) ・新型コロナウイルスの影響が見通せないため、「越谷サンシティ整備基本計画(案)」の検討棚上げ、延期を求める	現在、市が施設の管理・運営を行っており、費用負担が恒常的に生じているため、この状況を長期にわたって続けるには一定の限界があると考えています ➡当初のスケジュールのとおり整備していきます
	基本計画案に賛成の意見(1人) ・この先長期間にわたって市民の為になる機能を再構築する本計画に賛同する	

※人数の記載については、1人の意見者から複数件の意見をいただいている場合も、カテゴリーごとに計上しています。

越谷サンシティ整備基本計画【パブリックコメントを踏まえた変更点】

変更後	変更前(基本計画(案)時点)
-----	----------------

○「デザイン」に関すること

3 新たな越谷サンシティの整備に向けたコンセプト【11ページ】

① シビックプライド(郷土愛)を醸成するシンボリックな空間の形成【11ページ】

【12ページ】

(前略)

人々が暮らし、集うまちには物語が必要であり、南越谷、ひいては越谷市が選ばれるまちになるためには、核となる文化が必要です。「越谷市の顔」とも言うべき越谷サンシティの地に、これまでの歴史や時代の変化などを踏まえ、どのような文化が必要なのか、越谷らしい文化とは何かを考えたい。市民のシビックプライド(郷土愛)を醸成するシンボリックな空間の形成を目指します。

【12ページ】

(前略)

人々が暮らし、集うまちには物語が必要であり、南越谷、ひいては越谷市が選ばれるまちになるためには、核となる文化が必要です。「越谷市の顔」とも言うべき越谷サンシティの地に、これまでの歴史や時代の変化などを踏まえ、どのような文化が必要なのか、越谷らしい文化とは何かを考えたい。市民のシビックプライド(郷土愛)を醸成するシンボリックな空間の形成を目指します。

○「アリーナ」に関すること

4 施設整備・機能の検討【21ページ】

(2) 民間施設の方向性【21ページ】

【21ページ】

(前略)

整備懇談会や市民ヒアリングでは、どのような施設・機能が「南越谷ならではの『にぎわい』づくりに貢献するか」という観点からも多様なご意見をいただきました。例えば、鉄道2路線が交わり、都心から40分程度でアクセスできるという立地特性を活かし、「本市に本拠地を置くプロバスケットボールチーム「越谷アルファーズ」という資源を有効活用し、バスケットボールができる1万人規模の多目的大ホール(アリーナ)を「核」とした「複合施設」を建設してはどうか」というご意見をいただきました。また、「新型コロナウイルス感染症の影響により、都心のオフィス機能が見直されている傾向もあり、サテライトオフィスやWeb会議ができる施設を」といったご意見、さらに、「MICEに対応できる大規模な会議室や宿泊施設・ホテルの設置を」といったご意見をいただきました。その他にも、商業施設、産業振興や文化創造に寄与する施設、職業体験施設、子育て関連・世代間交流施設、若年層向け施設、駐車場などに関するご意見をいただきました。

なお、パブリックコメントでは、アリーナについて、施設の稼働率や周辺地域の治安を不安視するご意見もいただきましたが、「1万人規模の多目的大ホール(アリーナ)が必要」「さいたまスーパーアリーナのように市外から多くの人を呼ぶことができる施設整備を」「越谷アルファーズのホームアリーナの整備を」といったアリーナの整備を望むご意見を最も多くいただきました。

(後略)

【21ページ】

(前略)

整備懇談会や市民ヒアリングでは、どのような施設・機能が「南越谷ならではの『にぎわい』づくりに貢献するか」という観点からも多様なご意見をいただきました。例えば、鉄道2路線が交わり、都心から40分程度でアクセスできるという立地特性を活かし、「本市に本拠地を置くプロバスケットボールチーム「越谷アルファーズ」という資源を有効活用し、バスケットボールができる1万人規模の多目的大ホール(アリーナ)を「核」とした「複合施設」を建設してはどうか」というご意見をいただきました。また、「新型コロナウイルス感染症の影響により、都心のオフィス機能が見直されている傾向もあり、サテライトオフィスやWeb会議ができる施設を」といったご意見、さらに、「MICEに対応できる大規模な会議室や宿泊施設・ホテルの設置を」といったご意見をいただきました。その他にも、商業施設、産業振興や文化創造に寄与する施設、職業体験施設、子育て関連・世代間交流施設、若年層向け施設、駐車場などに関するご意見をいただきました。

(後略)